

会場4-3 【長野県】 上田西高等学校 発表を見た方からの感想

- 修学旅行や文化祭など様々なところでSDGsを意識した活動が行われていて、その時だけ意識したSDGs活動でなく、長期的に取り組めていてよいと思います。地域で行われているSDGs活動について知るだけでなく、実際に参加することでより理解を深めようとしている点もよかったです。
- UNMPという生徒の課題意識からスタートして学習の場所を提供するという取り組みがすごいと思った。SDGsなど学校で体験できないことを学ぶ場になっていると思った。またグローバルサミットという外国の学生と関わるプログラムに参加し、言葉が国と国を繋ぐことや多様性、自分から行動することを学んだようでよかった。
- 木材を余すことなく再利用していて無駄がないように環境に配慮していると感じた。また自分の手の木について知識を得ることで実際に感じた問題や考えが生まれることを学んだ。くるくる市の活動を通して再利用する場だけというわけではなく、コミュニケーションや人とのつながりも感じることの新発見を活かして地域の活性化にもつながると考えた。外国とのつながりを持つ中で外国と日本の違いや、外国の人が、日本人が気づかない発見をすることもできると思った。
- 実際に木を伐採し、流木を使用したアートを作成するなど行動に移して木の保全の大変さを考えており、とても良いと感じました。また、くるくる市を行うことで地域の方々同士でコミュニケーションをとることもできていた点が地域活性化にも繋がり非常に興味深いと感じました。
- UNMP、高校生でも行動を起こせるのだな、地域に影響を与えられるのだなと感動しました。自分にとっていないものでも、別の人にとっては価値あるものかもしれませんね。改めてリユースの素晴らしさを感じました。私も最近、留学生と交流する中で、似たような体験をしています。日本人としてある社会問題について意見を求められたときに初めて、自分の無知や無関心を思い知らされました。このような経験を高校生のうちから出来るのは本当に恵まれていると思います。出会いを大切にしてください。
- くるくる市や留学生との交流など、学校の方針により他校よりも特別な活動が多いのだと思われます。さらにその体験を通して次に何をするか、自分たちなりに新しい活動を考えとこれからの学びに生きるかと思います。
- 留学の際の話を今のSDGsに結び付けて考えており、すごく分かりやすかった。更に、受け答えがハッキリしておりわかりやすい、理解しやすいイメージだった。文化祭の話を聞き、工夫を凝らして努力していることに素晴らしさを感じ、これからも生徒会活動を頑張りたいと感じた。
- 同じ上田市の高校でしたが、西高校の取り組みについてあまり知らず、今回さまざまなプロジェクトへの取り組みを知りすごいなと思いました。文化祭というみんなの目に触れやすい場を活用するのが良いアイデアだと感じました。海野町は高校時代の通学路だったため、「くるくる市」に興味を持ちました。

- 流木を利用して作品を作ったり、薪を自分たちの手で準備したり、自然と直接的に関わるという活動は、自然環境への愛も育まれる素敵な時間であると感じました。SDGs のなかでもどの目標を達成したかを明確にして取り組んでいるのも素晴らしいと感じました。また、国際交流に果敢に飛び込んでいく姿勢に感銘を受けました。多様性への注目度が高まっていることを実感したり、文化の違いを学んだり、それぞれが貴重な気づきを得ているのが伝わってきました。
- それぞれの生徒が、活動によってどう考え方が変化したか、物事を見る目が変わったかを話していて良かった。特に国際交流を行うことで、自分だけでなく交流相手の意識や考え方も変化させているのではないかと考えた。
- 自然保護は誰かひとりの力ではなしえないことであり、いうのは簡単だけど実際に保護活動をするのは大変だということを改めて認識しました。SDGs の「くるくる市」の取り組みは作る責任使う責任という私たちにとても身近に実感できるターゲットの取り組みで興味深かったです。またグローバルな取り組みを高校からできているのはうらやましいしその経験が今後の多文化共生について考えていかなければならない時代にとってとても大切な経験だと思う。私自身もそのようなグローバルな経験をしたいとも思いました。
- 文化祭のテーマや修学旅行で SDGs を取り入れることで、楽しみながら学べる点が非常に素敵だと思いました。くるくる市では、まだ使えるものを交換するのはフリーマーケットやバザーとはまた違って面白いと思います。ゆっくりとした話し方で聞き取りやすかったです。国際交流では、楽しんでいる様子が伝わってきました。
- SDGs について考えを深める上で、事前学習や実習を行って実際に体感してみる、交流するという行動力が素晴らしいと思いました。そして体験、活動するだけでなく、経験を通して考えを深めている点でも素晴らしいと感じました。
- 人間が関わることで自然が保たれる場合もあれば、破壊される場合あることを再度確認できました。私の母の実家の地域でも農家をしている人が少なくなり、それに比例してタガメやゲンゴロウ、トウホクサンショウウオなどが減ったと聞いています。また、森林で伐採などの手入れをしていないと山がやせ細っていき、森に入ることが危険になった地域もあるということを知りました。町中に住む私のような人ではあまり実感がわかないことかもしれませんが、そのような問題があると知ることがとても重要だと感じました。ちなみに、私の地元の山形県では捕食者が極端に少なくなったことでニホンジカが増えすぎて、農作物被害が年々増加しているそうです(カモシカの食害も意外と酷いようです)。
- 上田西高校の学びプロジェクト、国際活動に関する話を聞いて、言葉の壁を恐れずにアジア圏、欧米圏などの様々な国の人たちとコミュニケーションをとって交流していることがすごいと思いました。国際交流はやりたいたって、実際に取り組む勇気がある人はなかなかいないので、自分たちで国際交流の機械を探し、自分たちから積極的にコミュニケーションをとろうする姿勢は素敵だと感じます。グローバル化する社会の中で、学生の内からこういった経験をするのは非常に大切だと思いました。

- くるくる市というものを初めて知った。困っていることを相談できる場が存在していることは非常に価値があると思う。物を大切にしたい。オンライン交流の経験を聞いて、言葉の壁を越えた関係は素敵だと感じた。私も大学に留学生の友達がいるが、国による違いや共通点を見つけて話すことは楽しい。今後も国を超えた交流は大事にしたい。
- 地域と絡めたSDGsを行い、海における廃棄物の対策を学校でしながらも統計でまだ改良点がある部分を見つけ出し、これからさらに良くしていこうという意気込みがとても伝わってくる話でした。これからも頑張ってください。また、国際交流なども行っており、幅広い経験を行なっていて素晴らしいです。
- 私は昨年上田西高校を卒業したのですが、こんなにSDGsに則した活動をしていることを知りませんでした。文化祭や修学旅行で、ただ楽しむだけでなく、SDGsに通じる学びを大事にしているのが凄く良いなと思いました。UNMPも、受動的ではなく、生徒の課題意識から学びがスタートしているのが素晴らしいなと思いました。くるくる市では、地域の人たちの交流がなされており、一体となってSDGsに向けた取り組みができるのが良いと感じました。国際分野においても、想像以上に幅広く、深い交流が行われており、感銘を受けました。国内の狭い環境だけでなく、グローバルな環境においてSDGsを考えていくことは、非常に意義のあるものだと感じました。何より、皆さんが楽しんで学んでいる姿が素敵でした。
- 立木でログリーチや展覧物を作ることはいいアイデアだなと感じました。SDGsについて修学旅行を通して学んでいて素晴らしいと思います。UNMPという授業では学べないことを学ぶことができる取り組みはうらやましく感じました。くるくる市を通して、物を簡単には捨てずに、大切にしていることは非常に大事だなと感じました。
- こちらの発表を聞いて、自然や環境の保全は一人ではなくたくさんの人で力を合わせていくことが必要であるということを知った。「UMMP」という授業ではない学びの場を用いて、まだ使えるものをみんなでお互いに交換をするといった形の「くるくる市」の活動も印象的であった。地域の人々で悩み事や相談を打ち明けるなどの木かきがあることは非常に生きていくうえで大切なことだと感じる。そのような活動に携わることは誇り高いです。応援しています。
- 修学旅行や文化祭など、日々の活動から環境のことを考え、実行しているのはとても良い取り組みだと思いました。上田西高校の皆さんは体験してみるということを大切にしていると思います、SDGsを身をもって体験していると感じました。これからの皆さんの活動を期待しています。
- 木材を作品にしたりその作品をキャンプファイヤーで使ったりと、最後まで有効活用していることが良いと思いました。また、実際に自分たちで木を切ることで気づきにつながると感じました。くるくる市を通して、物を捨てるのではなく、相談することや譲り合うことが大切だということを知ることができているのだと感じました。台湾オンライン交流会では、言葉の壁を乗り越えて交流を楽しんでいるようですが印象的でした。ほかの国の人と交流することで日本とは違った文化を知ったり多様性を学んだりすることができるため、良い取り組みだと思いました。